

# 家庭、技術・家庭

## 生活や社会の変化に主体的に対応する資質・能力を育成する授業づくり

### 授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 児童生徒の身近な生活との関わりや、社会とのつながりを重視して題材を設定する。また、各指導事項の関連を図り、系統的・総合的に学習を展開できるように題材の構成を工夫するとともに、実感を伴った理解を深める実践的・体験的な活動の充実を図る。
- ② 問題解決能力を育成するために、家庭科、技術分野、家庭分野における学習過程を踏まえて題材を構成する。また、ICTを効果的に活用するなどして学習過程の各段階の充実を図る。
- ③ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にするとともに、生活の営みに係る見方・考え方、技術の見方・考え方を働かせている児童生徒の姿を想定し、授業においてその姿を見取り、価値付ける。
- ④ 題材等内容や時間のまとまりを見通しながら、評価の場面を精選し、評価の方法を工夫する。また、自己評価や相互評価の場面を意図的に設定し、自身の学びや変容を自覚できるようにする。

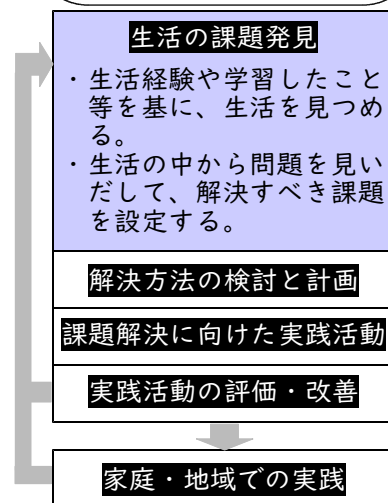
### 生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、課題を設定する学習の例

中学校第2学年 題材名「地域の高齢者等とともに地域交流会をしよう」（全6時間）  
「A家族・家庭生活」(3)「家族・家庭や地域との関わり」ア(イ)イ

#### ◇題材の目標（一部）

高齢者等地域の人々との関わり、協働する方法について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。  
[思考力、判断力、表現力等]

#### 家庭分野の学習過程の参考例



※上記に示す学習過程は、例示であり、上例に限定されるものではありません。

家庭分野の学習過程の詳細  
➡ R7「南の要覧」p21

生徒が題材を通して主体的に問題解決的な学習に取り組む姿につなげるためには、「生活の課題発見」の場面で、教師が課題を設定するのではなく、生徒が自分の生活を見つめ、解決したいと願う課題を設定することが大切です。 ①②



#### 題材の主な学習活動

[第1時]

##### 生活の課題発見

・家庭生活は、地域との相互の関わりで成り立っていることが分かるとともに、高齢者等地域の人々との関わり、協働する方法について問題を見だし、課題を設定する。

[第2・3時]

・高齢者の身体の特徴を踏まえた関わり方について理解する。

[第4・5時]

##### 解決方法の検討と計画

・高齢者等地域の人々との関わり、協働するための計画を工夫する。

[地域交流会]

##### 課題解決に向けた実践活動

[第6時]

##### 実践活動の評価・改善

・グループごとに地域交流会の実践について発表し合い、評価・改善する。

#### 本時の学習活動（1/6）

- 1 学校周辺のマップを基に、自分が住んでいる地域で行われている行事や活動への参加状況を確認し、気付いたことを発表する。
- 2 本時の学習のめあてと流れを確認する。
- 3 学校に関わる地域の人から、地域の活動の現状と地域の人々の思いについて話を聞く。
- 4 地域の人々との関わりについて考え、学習シートにまとめる。
- 5 地域交流会で、高齢者等の地域の人々と関わり、協働する方法について課題を設定する。
- 6 本時の学習の振り返りをする。

〈本時の評価規準〉

地域交流会で高齢者等地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見だして課題を設定している。  
【思考・判断・表現】(ワークシート)

生徒が解決したいと願う課題を設定するためには、生徒が自分の生活の現状を把握し、その現状をよりよくするためにどうしたいのかを明確にすることが大切です。そのために、様々な手立てを意図的に講じるようにします。 ①

〈生活の現状を把握するための手立ての例〉

・実生活の振り返り ・体験活動 ・インタビュー ・比較資料  
・調査活動 ・統計資料 ・事例検討 等